

スコアシート		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
0 建築物の環境品質・性能						3.6
Q-1 室内環境			0.40			3.7
1 音環境		4.4	0.15	3.5	-	3.7
1.1 騒音		-	-	-	-	
1 1 騒音レベル		3.0	-	3.0	-	
2 設備騒音対策		3.0	-	3.0	-	
1.2 遮音		5.0	0.70	4.1	0.70	
1 開口部遮音性能	住居T-3サッシ、防音ガラス採用、一般T-2サッシ採用	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能	コンクリート壁またはLGS壁GW充填	3.0	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	コンクリート床 t=150	3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.30	2.0	0.30	
2 温熱環境		3.5	0.35	3.2	-	3.3
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	0.60	
2 負荷変動・追従制御性		3.0	-	3.0	-	
3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	0.40	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.50	3.0	-	
5 温度・湿度制御		3.0	-	3.0	-	
6 個別制御		3.0	-	3.0	-	
7 時間外空調		3.0	-	3.0	-	
8 監視システム		3.0	-	3.0	-	
2.2 湿度制御	外気処理空調機+蒸気加湿	4.0	0.20	4.0	0.20	
2.3 空調方式	玄関吹き抜け部は蓄熱式床暖房	4.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.6	0.25	3.5	-	3.5
3.1 昼光利用		3.8	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60	
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-	
3 昼光利用設備	渡り廊下の照明は明るさセンサーによる昼光利用	5.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア		3.0	-	3.0	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		2.0	0.15	3.0	0.15	
1 設計照度		2.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度均斉度		3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御	ベッド毎に入切可能。共用部は中央よりスケジュール発停。	5.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境		4.7	0.25	4.5	-	4.6
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学物質汚染	建築材料全てにF 採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 鉱物繊維対策		3.0	-	3.0	-	
3 ダニ・カビ等		3.0	-	3.0	-	
4 レジオネラ対策		-	-	3.0	-	
4.2 換気		4.0	0.30	3.7	0.38	
1 換気量	診察室・病室など2回/h換気程度を確保	4.0	0.50	4.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	道路または各種排気口から6m以上離れている	4.0	0.50	4.0	0.33	
4 給気・排気ダクト計画		3.0	-	3.0	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御	敷地内全体の禁煙処置	5.0	1.00	-	-	
Q-2 サービス性能			0.30			3.8
1 機能性		4.4	0.40	4.8	-	4.7
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	全室 個室10㎡/床、多床室8㎡/床以上	3.0	-	5.0	1.00	
2 情報設備への建築・設備的対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	ハートビル法利用円滑化誘導基準を満たしている	4.0	1.00	3.0	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40	4.5	0.40	
1 広さ感・景観	病室天井高さ2.5m確保	3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-	
3 内装計画	木調を基本とした、患者重視の色彩計画を行う	5.0	1.00	5.0	0.50	
2 耐用性・信頼性		3.3	0.31	-	-	3.3
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔	塩ビライニング鋼管・塩ビ管	4.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 信頼性		4.0	0.19	-	-	
1 空調・換気設備	非常電源・保安電源と優先順位をつけて対応	5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	棟毎に高架水槽を設置	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備	2回線受電、非常用発電機、無停電電源	5.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

建物全体	住居・宿泊
解説シート	解説シートの
の採点結果	採点結果

3.0	3.0
-	-

3.0	5.0
3.0	5.0
3.0	5.0
3.0	5.0
3.0	5.0

3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0
4.0	4.0
4.0	3.0

3.0	3.0
5.0	3.0

3.0	3.0
3.0	3.0

2.0	3.0
3.0	3.0
5.0	5.0

5.0	5.0
3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0

4.0	4.0
3.0	3.0
5.0	5.0
3.0	3.0

3.0
5.0

3.0	5.0
3.0	5.0
5.0	5.0

3.0	5.0
3.0	5.0
5.0	5.0

3.0
3.0

5.0
5.0
4.0
3.0

5.0
4.0
5.0
3.0
1.0

3 対応性・更新性			3.4	0.29	3.0	-	3.1
3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		幹線はEPS・ケーブルラックに設置	5.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		幹線はEPS・ケーブルラックに設置	5.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)				0.30			3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		交差点角地のランドマーク、空地の植栽の景観創出	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.6
LR-1 エネルギー				0.40			3.0
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			3.0	0.30	-	-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル				0.30			4.0
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			4.1	0.85	-	-	4.1
2.1 資源の再利用効率			4.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率		高炉セメント使用	4.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率		歩道に再生インターロッキングブロック使用	4.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.04	-	-	
2.3 健康被害のおそれが少ない材料		接着剤等溶剤系にF 採用	5.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用		既存躯体を利用した、改修計画あり	4.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		ユニットバス・シャワーの使用	5.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.7	0.18	-	-	
1 消火剤		水消火のみ	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒		R410Aを主に採用	4.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境				0.30			3.9
1 大気汚染防止		オール電化	4.0	0.10	-	-	4.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音・振動			3.0	0.50	-	-	
2.2 悪臭			3.0	0.50	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制		日影図作成にて確認	4.0	0.15	-	-	4.0
4 光害の抑制		照度計算による照明計画	4.0	0.10	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善		井水の利用	4.0	0.30	-	-	4.0
6 地域インフラへの負荷抑制		雨水貯留槽、駐車場駐輪場整備、ごみ分別収集施設	4.0	0.25	-	-	4.0

3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0

2.0
2.0
5.0
5.0
3.0
3.0

2.0
4.0

3.0
3.0

3.6

4.0

4.0
3.0

4.0

3.0
1.0

4.0

3.0

3.0
対象外

4.0
4.0
2.0
5.0
4.0
5.0

4.0
3.0
4.0

4.0
3.0
3.0

4.0
4.0
4.0
4.0
4.0

LR-1 用途別得点表		病院	-	-	-	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		11965 m ²	-	-	-	4.0
3 設備システムのERRによる評価		4.0	-	-	-	4.0
高効率化 個別設備による評価		-	-	-	-	
3.1 空調設備		4.0	-	-	-	
3.2 換気設備		3.0	-	-	-	
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	
3.4 給湯設備		4.0	-	-	-	
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	